



合唱ワークショップ

バンドネオンとタンゴの世界

& オペラ歌手によるヴォイストレーニング

世界的に活躍されているバンドネオン奏者の早川純さんを
合唱団フィルハーモニッシャー・コールの練習にお招きして
実演をまじえてレクチャーしていただきます。



早川純 Bandoneon

2022年8月イタリア・サルデーニャ島で行われたハインリヒ・バンド国際バンドネオンコンクールで優勝。同時に聴衆賞を受賞した。東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。ジェヌビリエ音楽院ジャズDEMを満場一致の一位で取得。様々なスタイル・編成のユニットを主宰し精力的に活動を続けてきたが、2013年ドイツのクリンゲンタールで行われたコンクールでの入賞を機に渡仏。J.J.モサリーニ氏にバンドネオンを師事した。同時にパリを拠点として、ヨーロッパ各地で演奏活動を展開。2015年の帰国後は、バンドネオンソロで全国を巡るプロジェクトを開始。現在に至るまで、ヨーロッパの音楽家と共演を重ねている。これまでに6枚のCDをリリース。定評のあった力強い演奏スタイルに、モサリーニの薫陶を受けた繊細な表現力を加えて、バンドネオンの新しい可能性を独自のスタイルで追求している。

3月4日（土）板橋グリーンホール1階ホールにて **【参加費無料】**

13:00～13:55 ヴォイストレーニング（向野由美子先生）

14:00～15:00 レクチャー「バンドネオンとタンゴの世界」

最後にピアノとバンドネオンに合わせてパルメリ「ブエノスアイレスのミサ」Kyrieを歌います♪



向野由美子 Mezzo soprano

東京芸術大学卒業、同大学大学院修了。在学中より、宗教曲のソリストとして活躍。バッハ「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」、マーラー「復活」「大地の歌」他、多数のバッハカンタータソリストを務める。藤原歌劇団に「ラ・チェネントラ」でデビューし、その後も同団「ランスへの旅」「蝶々夫人」「フィガロの結婚」「オリィ伯爵」「ファルスタッフ」「カプレーティ家とモンテッキ家」など多数の公演に出演し好評を博している。その他、日本オペラ協会「静と義経」磯の禅師、紀尾井ホール開館20周年記念バロックオペラ「オリンピーアデ」（日本初演）のメガークレで高い評価を得た。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。都留文科大学・共立女子中学高等学校非常勤講師。

フィルハーモニッシャー・コール事務局（合唱団プロフィールは裏面参照）

ホームページ：<http://www.ph-chor.com> E-mail：contact@ph-chor.com

※できれば5日前までにメールにて申し込みをお願いいたします。

※定員を超える場合は、これまで弊団の練習やワークショップに参加されたことのない方を優先させていただきます。

※不織布マスク着用、ソーシャルディスタンスを保つての歌唱となります。

※申し込み時にお知らせする感染症対策等の注意事項を守ってご参加ください。

※お子様連れでのご参加については申し込み時にご相談ください。

※早川純さんのyoutube解説（<https://youtu.be/rvPXKWNSDAw>）前後編の事前視聴をお勧めします。



HP



Facebook

フィルハーモニッシャー・コール (PHC)

第6回演奏会に向けて団員募集！

1996年初演のバルメリ「ブエノスアイレスのミサ」は バンドネオン／ピアノ／弦楽による伴奏のタンゴ調のミサ曲です。バッハとバルメリ、およそ 280 年の時を越える刺激的なプログラムをPHCで一緒に歌いましょう！！

フィルハーモニッシャー・コール第6回演奏会

バルメリ「ブエノスアイレスのミサ」

バッハ「モテット3番」「名曲集」

日程：2024年1月28日（日）午後開演

会場：北とぴあ さくらホール

出演：〈指揮〉奥村泰憲 〈バンドネオン〉早川純

〈独唱〉池田香織 〈ピアノ〉渡辺まどか

〈管弦楽〉フィルハーモニッシャー・コール・アンサンブル



奥村泰憲



池田香織

リハーサル日程 2024年1月6日（土）午後（独唱との合わせ） 1月20日（土）午後（全体リハーサル）

初心者の方も大歓迎です！見学は随時受け付けております！！
ホームページの練習日程をご覧ください、前日までにお問い合わせフォーム
またはE-mail：contact@ph-chor.comにてお気軽にお申し込みください。

入団費：1,000円

団費：月額 5,000円（但し、30歳未満の学生は2,500円）

練習日：第1・3土曜日午後、第4金曜日19:00～21:00



フィルハーモニッシャー・コール (PHC) は「音楽を愛する人の合唱団」を意味します。前身は音楽に携わる企業であるパイオニア株式会社をバックグラウンドとした「パイオニア合唱団」で、1995年から20年にわたって充実した演奏活動を行いました。2015年にその伝統を引き継いで自主運営の社会人合唱団となり、現在は50余名が所属しています。オーケストラと共演する演奏会を中心に、プロのオペラ歌手による本格的な発声指導を受けての技術向上に努め、合唱の楽しみを通じて団員同士の親睦を深めています。これまでの主催演奏会では、ラター「マニフィカト」、モーツァルト「戴冠ミサ」、プッチーニ「4声のミサ曲」、バッハ「ミサ曲短調」など、さまざまな作曲家の作品を取り上げました。コロナ禍による活動休止や第4回演奏会の延期／中止を経験しながらも、対面やオンラインでの活動を続けて2022年7月には約3年ぶりとなる第5回演奏会を無事に開催し、シューベルト「ミサ曲第2番」やブラームス「ネーニエ」、ドプロゴス「ミサ」を演奏しました。現在は2024年の第6回演奏会に向けて、素晴らしい先生方のご指導のもとバルメリやバッハの楽曲に取り組んでいます。また、団の活動理念でもある社会福祉／社会文化活動として、毎年クリスマスの時期に聴覚障がいの方と一緒に音楽を楽しむ「身体で聴こう音楽会」（パイオニア株式会社主催）に出演しています。



2019年 第3回演奏会



2019年 身体で聴こう音楽会